

これからが楽しみ！ 第10回京山地区ESDフェスティバル

1月30日～2月1日に京山公民館で行われました。公民館では、幼小中高生が発表を行った「京山ESDサミット」を柱に、どこでもESDを満喫できました。テーマは「(E)えーものを(S)子孫の(D)代まで。希望あるすばらしい未来の京山を」。小さな子どもさんから小中高大学生、そしてご年配の皆さんまで集い、楽しんで、学んで、話し合っ、これから10年の一歩となりました。誰もが参加できるのいいですね。企画のひとつを紹介しします。



●大森市長が参加して行われた「京山ESD対話」

第10回を記念して、大森市長、則武議長、曾田教育委員会委員長などにご参加をいただき、地球環境、多文化共生、高齢者福祉などについて、小中学生をはじめ地域の皆さんと直接の「対話」ができました。

●昔遊びのコーナーに「京山ESDすごろく」誕生

京山の歴史や文化がわかる「京山ESDすごろく」があって、びっくりしました。こうして新しいものが誕生するのはいいですね。京山ESDツアーを実現したいです。



●「地域の絆プロジェクト/京山地区の魅力と課題」

中学生が参加しての意見交流。地域課題とその解決策が提案されました。自転車についてたくさん出されました。マナーや走行空間などの改善が必要です。

●3Rと食器リユース

毎年大好評の食器リユースコーナーは今回も大盛況。今回はじめてフードバンクへの取り組みが行われました。

●津島福居ふれあいだより2015

福居町内会による展示です。今回のテーマは「福居の町の今・昔」。地図や写真を使っの力作でした。

ご存知ですか？ ◆西部リサイクルプラザ

「岡山市西部リサイクルプラザ」(北区野殿西町)が1月にオープンしました。不燃ごみの分別や資源化物の分別・整理が行われており、見学ができます。☆「西部リユースぶらざ」には、市民の方からの提供品を無償で持ち帰っていただくコーナーや、有償(抽選)販売もあります。研修室なども比較的安く借りられます。☆開館日時などは、HPで確認するか、直接連絡してください(086-214-2650)。



編集後記★縁あって、友人のお店の取材にきた「探偵ナイト・スクープ」に一瞬ですが端役で出演しました。1月の放映以来、ずっと「見たよ」というお声がかかります。さすが長寿人気番組。★温かく誠実なスタッフの皆さんに感銘を受けました。かくありがたいです。



のぞみ日誌から

「10代の性の健康/支援ネットワーク」協議会

1月26日に関係機関の皆さんが集い行われました。産婦人科医の皆さんは、子どもたちの現状から、性の健康にまつわる教育の必要性を実感しておられますが、学校現場では現実とのギャップが大きいのが実情。どのように教育を進めるのかと議論が白熱しました。

岡山後楽館中学校に視察

2月20日、横田えつこ県議と岡山後楽館中学校に視察に行きました。校舎が新しい上にゆったりと面積がとられています。落ち着いて、生徒同士の支え合いも感じました。制服がないので全体が明るく感じます。学級担任二人制はきめ細やかになるのでいいですね。



津島小学校卒業演奏会&スプリングコンサート

2月28日には吹奏楽部による卒業演奏会、3月8日にはグリーンコーラスによるスプリングコンサートがありました。毎年のことながら、感動します。この体験は子どもたちの宝物、子どもたちは私たちの宝物です。羽ばたいてください。



トーク「僕らの問題 すまい・いのち・けんり」

3月1日、稲葉剛さん(NPO法人自立生活サポートセンター・もやい理事)を囲んでのトークイベントに出ました。LIVE中継もされ、緊張しましたが、会場を包み込む空気があたたかく、素晴らしい時間でした。「studio Lights」主催です。



3.11への祈り。さよなら原発ウォーク

3月8日に、「原発をなくそう～」と子どもたちといっしょにウォークをしました。トークやライブ、安心して食べることができる美味しい屋台もありました。企画に先立って脱原発議員としての紹介がありました。ぜったいにフクシマを忘れません。



岡山市議会議員

会派：市民ネット

No.32

2015年2月議会報告

おにきのぞみ

虹色通信

2015年3月発行



事務所 〒700-0971 岡山市北区野田5丁目8-11 かつらぎ野田ビル2F
TEL 086-242-5244 FAX 086-244-7724
自宅 岡山市北区津島福居2-16-12-2 TEL/FAX 086-254-5262
Email:hopequal@po7.oninet.ne.jp http://yaplog.jp/niji_oni/



いっしょにつくろう 私たちの安心&楽しいまち・岡山を！

2011年3月11日。東日本大震災と福島第一原発の事故から丸4年が経ちました。
私たちにとって、忘れられない、忘れてはならない日が増えました。

女性の声を活かすことができる街づくりを

震災がおきたとき、私自身がとりわけ気になったのは、女性と子どもたちのことでした。

阪神淡路大震災以後、女性支援の必要性が認識されていました。避難所での着替えや授乳などの場所、生理用品への配慮、DV(暴力)や精神面のストレスなど。東日本大震災において、国は自治体に通達・指示を行うものの、女性の状況把握やサポートをする活動が入りにくい(女性が声をあげづらい)という情報が伝わってきました。

普段の暮らしのなかで、女性が自らの思いを発言すること、またその場が保障されていないと、いざという時に、自らの安全・安心が守られないということです。

岡山市の大森市長は、市の女性管理職の割合について、将来30%をめざすことを目標値に掲げました。政策決定の場に女性が参画していくことは大切であり、そのための環境整備は必要です。議会や地域のあらゆる場においても然りです。岡山市議会の女性議員は現在7人(13.5%)に



3.11への祈り。脱原発ウォーク(3.8)



京山地区ESDフェスティバルにて若者たちと(2.1)

すぎません。女性議員ゼロの自治体が379(全国の地方議会1788)あります。一人ひとりがエンパワーされる施策や機会づくりは未だ必要であり、そのために女性の声が反映できる場と街をつくりたいです。

脱原発で子どもたちに健やかな未来を

震災以後、避難・移住の方が岡山に増え続けています。今も原発事故収束のめどはたつておらず、26兆円の復興予算がつぎ込まれていますが、肝心の人々の生活の復興・再建は大幅に遅れています。原発事故が何をもたらすのか、私たちは直視しなければなりません。

未来に向かって、すべての子どもたちが安心して育つことのできる街を作りたいです。妊娠期から出産・子育ての切れ目のない細やかな支援ができる街。「食・農・エネルギー」が地産地消できる街。岡山市はその可能性が高い自治体です。

いっしょに作ればきっと楽しい。これからも皆さんと知恵と力をあわせて頑張ります。

おにき・のぞみ



2月議会 個人質問から

質問項目

1. 原発事故避難計画
2. 男女共同参画、子ども・子育て支援
3. 選挙について



来年度予算審議の2月議会。議員スタート時から質問を重ねていた吉備線LRT化が基本計画策定にむけて検討へ。自転車施策も拡充されます。☆市民協働にむけて局がたちあがり、念願のESD市民活動推進センターの体制は拡充。協働条例の見直し作業が進みます。☆「イノシシ対策については市政のど真ん中の課題」という市長発言があり、これからに期待。☆願うようには進まない子ども・子育て支援施策。今後取り組みます。

原発事故避難計画について

★中国電力島根原発の1号機の貯蔵プールには使用済み核燃料が322体、2号機には1956体保管され、貯蔵プールの49%を占めます。3号機の工事はほぼ完了していますが、原発事故をうけて稼働していません。稼働していなくても、使用済み核燃料があるので、福島原発と同じ状況に陥る可能性があります。

2014年5月、島根原発事故を想定し、岡山県と島根県は「原子力災害時等における広域避難に関する協定」を締結。岡山市には松江市から25,000人が避難します。松江市作成の地区別避難計画パンフレットには、その地区が岡山市内

にあるどの避難経路に行くのかが示されています。議員の皆さんは私が配布した松江市のパンフをみて、身近な中学校の名前が記してあるので驚いていました。受け入れ側の岡山市には計画などありません。県の作成を待つて整備するということですが、実効性のある計画が立てられるのか疑問です。

★福島原発事故では、放射性雲により原発から200km離れた自治体でも、高い放射線量の場合があります。市民の安全を守るために、島根原発事故を想定した放射性物質拡散の予測図の作成を行い、そして岡山市自身も対策をとるべきですが、国の動向注視という姿勢です。

男女共同参画・子ども子育て支援

★市長が、「男女ともに働きやすい職場環境作りに積極的にとりくむ企業に新たな認証制度を作る。そのインセンティブとして、建設工事部門の入札資格等級の格付等級決定時に加点をしたい」と本会議で発言しました。

私が働きかけてきたことの一部が実りました。認証制度はこの4月からスタート。公契約上の加点の内容は2015年度に詰められます。

岡山市本体については、育児休業の取得者数をふまえて正規職員を採用し、育休代替任期付職員とあわせて育休職員がいる所属へ効率的に配置する。そして、育児休業の取得がキャリア形成に影響しない人事管理などをするという事です。

計画の対象職員については、正規職員だけでなく、「すべての職員」。私は非正規職員にも働きかけてきましたが、元々の制度が異なるので、考え方として入っただけです。これから具体的に検討していきます。

★これから3年間の「岡山市障害者プラン及び第4期岡山市障害福祉計画」。プランに「障害児支援の充実」や「教育」の項目が入り、計画に「障害児支援については、今期計画ではじめて見込み量を定めることとなります」と。岡山市には、障がい児についてのプランや計画がないことを指摘してきましたので、十分とはいえませんが、大きな一歩だと思えます（このプランについては、質問をしていません）。

若者にも向き合って 子どもたちへの主権者教育の充実を

若い皆さんたちと議員や議会、そして政治について語り合う場がありました。

中学生の皆さんは、議員に直接会ったことがあるのは1割程度で、お祭りでの挨拶ということでした。これでは、議員が何をしているのかわかりません。

私は、議員は生活丸ごとの仕組みや税金の使い方を、市民の皆さんの声とともに作り決めていく仕事だと伝えました。楽しい話だった、なかには議員になりたいという感想もあり、嬉しかったです。

大学生の皆さんも、議会は遠い存在で、どこで何をやっているのかわからない。でも、議員と直接出会う場が増えたら、自分にも何かができるのでは。身近に政治に関わっている人がいたら、その人を通して政治を考えられるなどの意見をいただき、私自身、身が引き締まる思いでした。

岡山市の友好都市である韓国の富川市議会と交流をしたとき、議会のことを説明するわかりやすいDVDと冊子が作られており、それは小中高校に議員が

出かけ、議会について「一日先生」をするときに用いられるとのことでした。さらに地方自治は住民参加の中で成長・発展できると、子どもたちにも議会傍聴を呼びかけており、とても感心をしました。市政も議会も議員も、若い人にもベクトルを向けて、表現の仕方も工夫をして、向き合っていくべきです。



写真：加藤晋平

選挙権年齢を18歳以上に引き上げる公職選挙法の改正案が成立しようとしています。若い世代の政治参画意識を高めるためには、子どもたちへの主権者教育の充実が必要です。

今回の議会で私は、子ども議会の開催や後楽館高校での模擬投票（具体的な選挙を利用して）を提案しました。市長は子どもの意見はこれからも聞いていきたい。教育長は後楽館高校に情報提供していきたいという答弁でした。また、市内の大学に「選挙カフェ」をもって選挙広報をと質問しました。

若い皆さんが、自分たちで考え、決め、実行する。こういう場づくりを、教育現場も含めて、進めていきたいです。

障がい者の選挙制度

選挙は民主主義の根本です。私は議員になって初めての議会質問で選挙をとりあげ、点字の選挙公報の発行や、選挙公報を音読したテープの作成を行うよう質



「いち・にのさん」（生活介護事業所）に横田県議と訪問しました。（2015.2.17）

問をしました。他の議員の方もとりあげてくれましたが、今では、両方とも活用されているので喜んでます。

障がいをもった皆さんの選挙権を保障するために、郵便投票や代理投票などの制度があります。現実に自著ができないにもかかわらず、制度としては代理投票から外れていたり、岡山市の数字をみると、今の制度でも選挙権を行使する方の数を増やすことができそうです。

障がいをもった皆さんに、わかりやすい選挙制度のチラシをつくってほしいと質問をし、前向きに検討して下さるとのことです。これからも環境整備について、調査・提案をしていきます。

いのち、みどり、平和を大切に、こんな課題に取り組んできました（2011～2015年）<抄>

いのち

- 子ども子育て支援
- 男女共同参画
- DV被害者支援、性犯罪被害者支援
- 避難者・移住者支援
- 障がい児・障がい者施策
- 教育、相談支援ファイル、防災
- 発達障害者支援センター、雇用
- 多文化共生
- 高齢者施策（認知症についてなど）
- ホームレス・生活困窮者自立支援
- 人権施策
- 原発事故避難計画、放射線副読本
- 防災（避難支援プランなど）
- 子宮頸がんワクチン接種
- 動物愛護



みどり

- 学校給食の地産地消／産地公表
- 震災ガレキの広域処理（妥当でない）
- 自治体の屋根を貸す太陽光発電事業
- エネルギーシフト 地球温暖化対策
- ごみ減量
- 自転車、歩道施策
- 中山間地域施策
- イノシシ対策
- 新斎場問題
- 御津産業廃棄物処分場



平和

- ESDについて
- 市民との協働
- 戦争をさせない1000人委員会 ↑
- 岡山市図書館整備計画
- 政令市のあり方、都市内分権
- 防犯カメラ
- マイナンバー制度
- 公共施設マネジメント事業
- 岡山空襲展示室開設



※2月議会補正予算では、プレバーク普及事業、C2ターナー希望者のためのお試し住宅提供や就職・転職活動支援にむけての交通費補助のための予算がつきました（嬉）。

